

東洋インキSCホールディングス株式会社  
2022年2月18日

# 2021年12月期（2021年度）決算説明会

## 内容

- ◆ 連結業績概況
- ◆ 各セグメントの概況
- ◆ 中期経営計画SIC-II（2021-2023）の進捗
- ◆ 設備投資・株主還元
- ◆ ESGトピックス
  
- （ご参考） BS概況・PL概況  
地域別・事業別セグメント業績  
主な製品・用途

本資料中の計画、予想は2022年2月18日現在の認識・前提にたっており、これからの国際情勢、経済状況、事業環境に著しい変化があった場合には、実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。また、表記の金額は億円未満について四捨五入しております。

# 2021年度連結業績と2022年度計画

(単位：億円)

科目	2020年度 実績	2021年度 実績	増減率(%)	2021年度計画 (修正後)	2022年度通期 計画値
売上高	2,577	2,880	11.8	2,800	2,950
営業利益	129	130	0.7	145	145
経常利益	125	154	23.1	150	150
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	95	57.7	85	100
営業利益率	5.0%	4.5%	▲0.5points	5.2%	4.9%
海外売上高比率	46.4%	49.9%	+3.5points		

## 計画の前提となる指標と実績

		20年度 平均	21年度 平均	22年度 前提
為替	1 USD	¥106.4	¥110.4	¥115.0
	1 EUR	¥122.0	¥130.3	¥130.0
	1 RMB	¥15.4	¥17.1	¥18.0

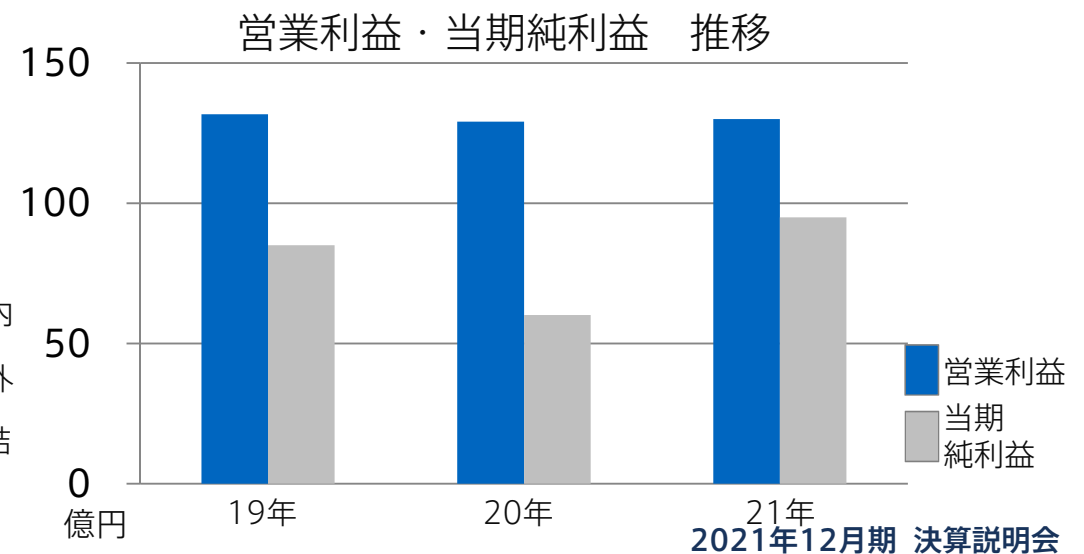
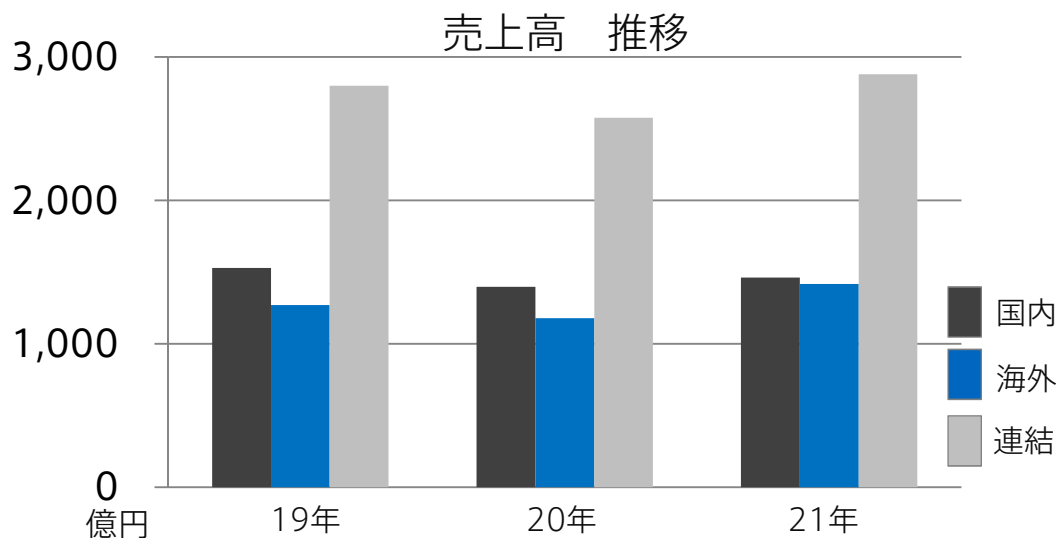
		20年度 平均	21年度 上半期	21年度 下半期	22年度 前提
原料	ナフサ(/KL)	¥32,800	¥43,250	¥57,100	¥60,000
	ロジン(/t)	\$1,551	\$2,727	\$2,666	\$2,500

2021年12月期 決算説明会

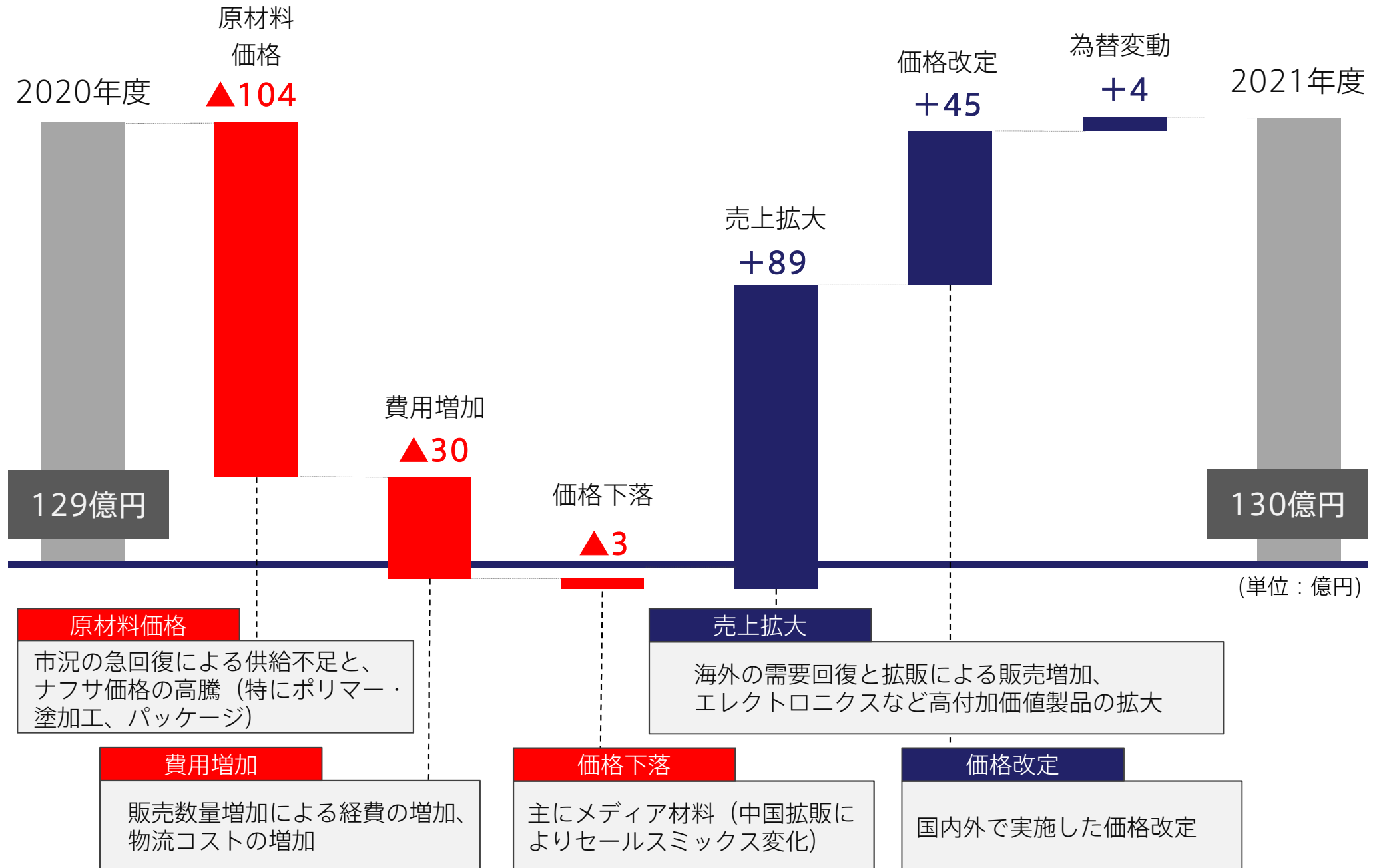
## 2021年度 連結業績概況

### ■ 増収増益：営業利益は前年並も、売上は計画を上回る

- 売上：全セグメントにおいて前年を上回る、特に海外を中心に回復
  - メディア材料/5G材料などエレクトロニクス関連材料が牽引
- 営業利益：原材料価格の急激な高騰の影響で前年並に留まる
  - 「色材・機能材」「印刷・情報」は増益、「ポリマー・塗加工」「パッケージ」は減益
- 経常利益・当期純利益：計画、前年を上回る利益
  - 前期の為替差損に対し、今期は為替差益が発生
  - 国内外の事業構造改革など特別損失、保有資産の見直しなど特別利益を計上



# 2021年度 営業利益の増減要因分析



## 2021年度 事業セグメント別実績概況

- **色材・機能材**：メディア材料の好調と、着色剤の販売伸長により増収増益
- **ポリマー・塗加工**：高機能製品が伸長も、原材料高騰に価格改定が及ばず減益
- **パッケージ**：食品包装用が国内外で伸長したが、原材料高騰に価格改定が及ばず減益
- **印刷・情報**：機能性インキの伸長と海外の需要回復により収益改善

	2020年度 実績		2021年度 実績		増減率(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	650	23	750	54	15.3	138.6
ポリマー・塗加工	623	59	707	36	13.5	▲39.9
パッケージ	666	39	736	18	10.6	▲53.3
印刷・情報	622	6	667	17	7.2	189.4
その他・調整	15	2	19	5	-	-
連結	2,577	129	2,880	130	11.8	0.7

(単位：億円)

2021年12月期 決算説明会

# 原材料価格の動向と購買政策

## 原材料価格高騰の背景と見通し

- 経済活動の回復による各種原材料の需要急増
- 物流の乱れによる輸送費の高騰
- 原材料製造元の事故等による供給制限（広範囲の原料に影響が波及）
- 世界的な環境規制強化の継続による対策コスト増大
  - 22年度も原材料価格の高止まり、厳しい状況が続く見通し

## 営業利益への影響（通期 対前年）

原材料価格高騰の影響	価格改定の実績
▲104億円（上期20億円、下期84億円）	45億円（上期7億円、下期38億円）
<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">■ ナフサ由来原料</li> <li style="width: 50%;">■ 酸化チタン</li> <li style="width: 50%;">■ 有機溶剤</li> <li style="width: 50%;">■ 容器（ドラム缶）</li> <li style="width: 50%;">■ 樹脂原料</li> <li style="width: 50%;">■ 顔料原料</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">■ 粘着剤</li> <li style="width: 50%;">■ フレキシインキ</li> <li style="width: 50%;">■ ラミネート接着剤</li> <li style="width: 50%;">■ オフセットインキ</li> <li style="width: 50%;">■ 塗料・樹脂</li> <li style="width: 50%;">■ スクリーンインキ</li> <li style="width: 50%;">■ UVインキ</li> <li style="width: 50%;">■ 顔料</li> <li style="width: 50%;">■ グラビアインキ</li> <li style="width: 50%;">■ 着色剤</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>

➤➤ 22年度：適正価格への改定を進める

**購買政策** 製品の供給責任を優先した上で、SCM改善、原材料見直しを実施

2021年12月期 決算説明会

# 各セグメントの概況（色材・機能材）

## 21年度重点施策

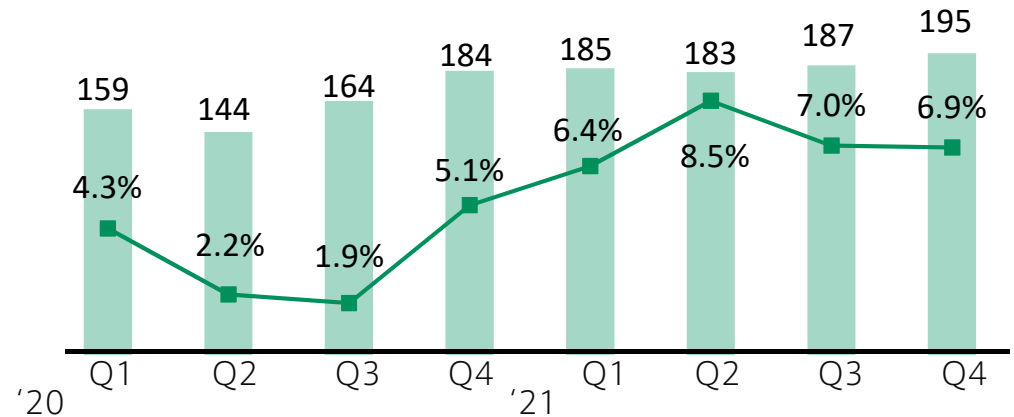
## 収益の柱の確立に向け攻めの布石を打つ

■ **売上** メディア材料の好調、着色剤の海外販売伸長により増収

■ **営業利益** メディア材料・着色剤・インクジェットの伸長、高機能製品シフトで増益

業績	20年度 業績	21年度 業績	増減率(%)
売上	650	750	15.3
営業利益	23	54	138.6

(億円)



四半期売上・営業利益率推移

### 売上増減

### 概況

メディア材料	+19%	中国・台湾でのレジスト・ペースト拡販により、売上・シェアが拡大
着色剤	+13%	海外で高利益の開発MBが実績化、国内は容器、キャップ用でシェアアップ
顔料	+11%	オフセット用顔料の需要減少をデジタル印刷用、パッケージ用でカバー
インクジェット	+48%	中国・欧州を中心にグローバルでシェア拡大、新規生産設備稼働も奏功
機能性分散体	+55%	LiB用材料は4極生産体制（欧米中日）構築に向け積極的に設備投資を実施

# 各セグメントの概況（ポリマー・塗加工）

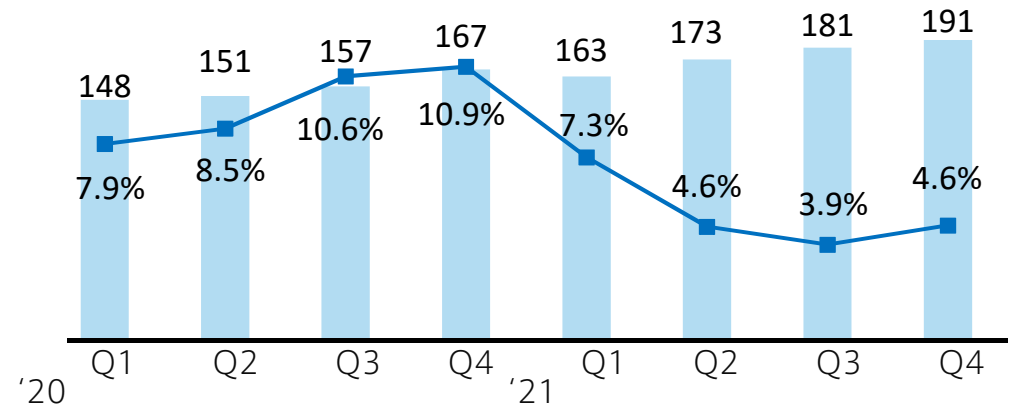
## 21年度重点施策

## 環境調和型製品の拡大と5G市場への攻勢

- **売上** 塗工材料は5Gやパネル用を中心に拡大、粘着剤・接着剤も国内外で伸長
- **営業利益** 高機能製品は伸長も、全体としては原材料高騰に価格改定が及ばず減益

業績	20年度 業績	21年度 業績	増減率(%)
売上	623	707	13.5
営業利益	59	36	▲39.9

(億円)



四半期売上・営業利益率推移

	売上増減	概況
パッケージ・工業材料	+10%	食品包装やラベル用粘接着剤は堅調、海外は環境調和型製品や工業用が拡大
エレクトロニクス	+27%	塗工材料が特に5G用で大きく伸長、パネル向けのコート剤も好調
メディカル・ヘルスケア	+6%	貼付薬はコロナ禍で需要減少も、中国のヘルスケア用粘着剤は拡販が進む



# 各セグメントの概況 (パッケージ)

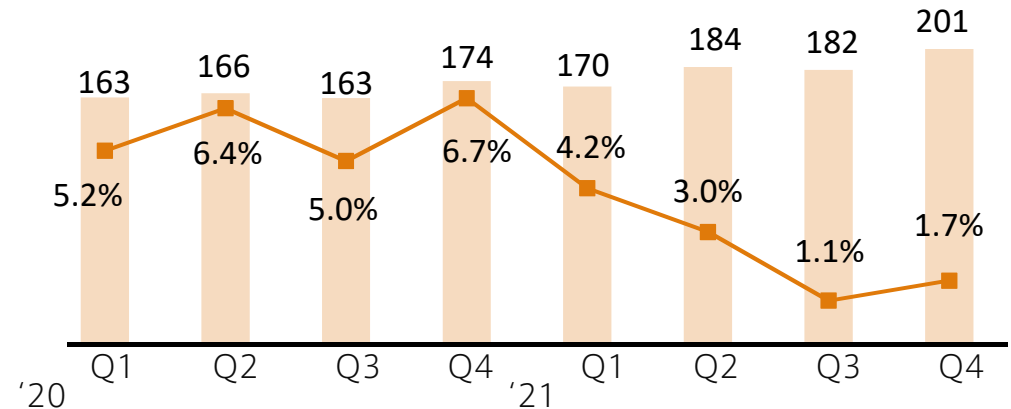
## 21年度重点施策

## 環境対応ソリューションの推進

- **売上** 食品包装用途は国内外で拡販、国内は環境対応品が好調
- **営業利益** 国内外で拡販進んだが、原材料高騰に価格改定が及ばず減益

業績	20年度	21年度	増減率(%)
	業績	業績	
売上	666	736	10.6
営業利益	39	18	▲53.3

(億円)



四半期売上・営業利益率推移

売上増減	概況
国内リキッドインキ +8%	食品軟包装用や詰め替えパウチ用など堅調 バイオマスインキなど環境対応製品が伸長
海外リキッドインキ +14%	昨年度落ち込んだ中国・東南アジアも大きく回復 韓国・インド・台湾で軟包装用水性インキが伸長

# 各セグメントの概況（印刷・情報）

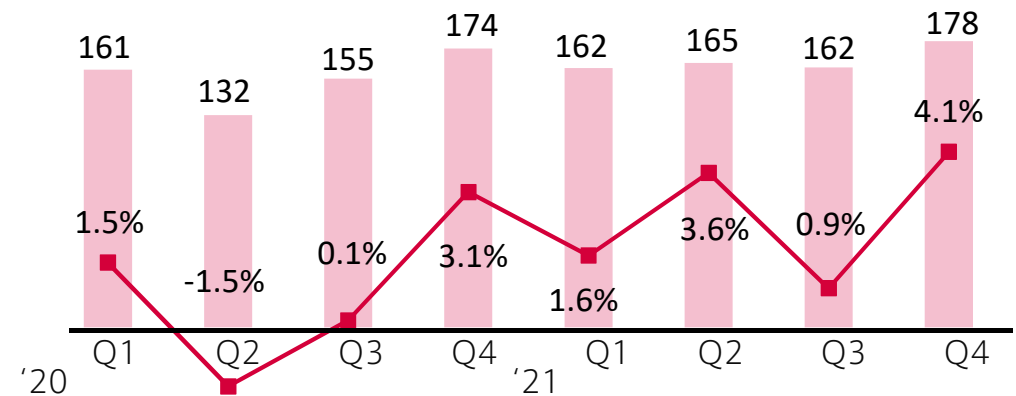
## 21年度重点施策

## 収益事業化への変革加速

- **売上** パッケージ向け機能性インキは国内外で伸長、海外の需要が回復基調
- **営業利益** 機能性インキの伸長と構造改革の推進により収益体質が改善

業績	20年度 業績	21年度 業績	増減率(%)
売上	622	667	7.2
営業利益	6	17	189.4

(億円)



四半期売上・営業利益率推移

売上増減	概況
オフセット インキ (一般インキ)	+7% 海外需要はコロナ禍から回復基調、国内市場縮小は加速 生産アライアンスなど構造改革を推進
機能性インキ※	+13% バイオマスインキなど環境対応製品が国内外で伸長 パッケージ向け市場への拡販

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

## 2022年度 事業セグメント別計画

- **色材・機能材**：成長市場において収益の柱の確立を加速
- **ポリマー・塗加工**：グローバルNO.1 製品群の拡充と収益構造の変革
- **パッケージ**：環境対応をリード、海外各エリア市場の成長投資を加速
- **印刷・情報**：市場環境に適合した収益事業へ改革推進

	2021年度 実績		2022年度 計画		増減率(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	750	54	770	55	2.7	2.0
ポリマー・塗加工	707	36	740	48	4.6	34.5
パッケージ	736	18	760	25	3.2	37.9
印刷・情報	667	17	660	17	▲1.0	▲1.7
その他・調整	19	5	20	0	-	-
連結	2,880	130	2,950	145	2.4	11.5

(単位：億円)

2021年12月期 決算説明会

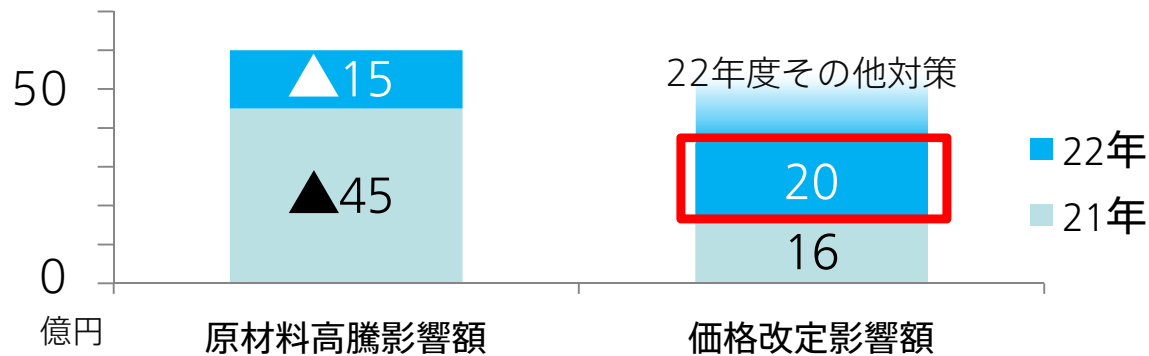
# 2022年度施策 原材料高騰への対策

原材料高騰は特にポリマー・塗加工、パッケージセグメントで影響大

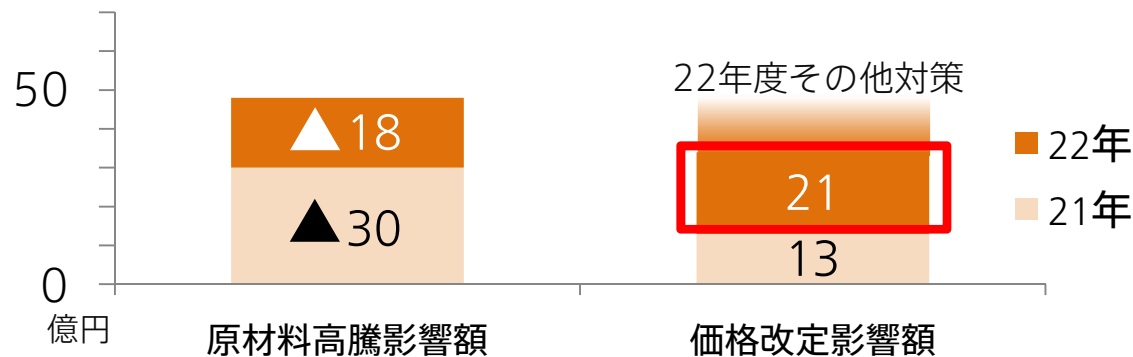
▶ 更なる価格改定を迅速に進める

## ■ 営業利益への影響（通期 対前年）

### ポリマー・塗加工



### パッケージ



2022年度価格改定効果額  
(通期 対前年)

ポリマー・塗加工	+20億円
----------	-------

パッケージ	+21億円
-------	-------

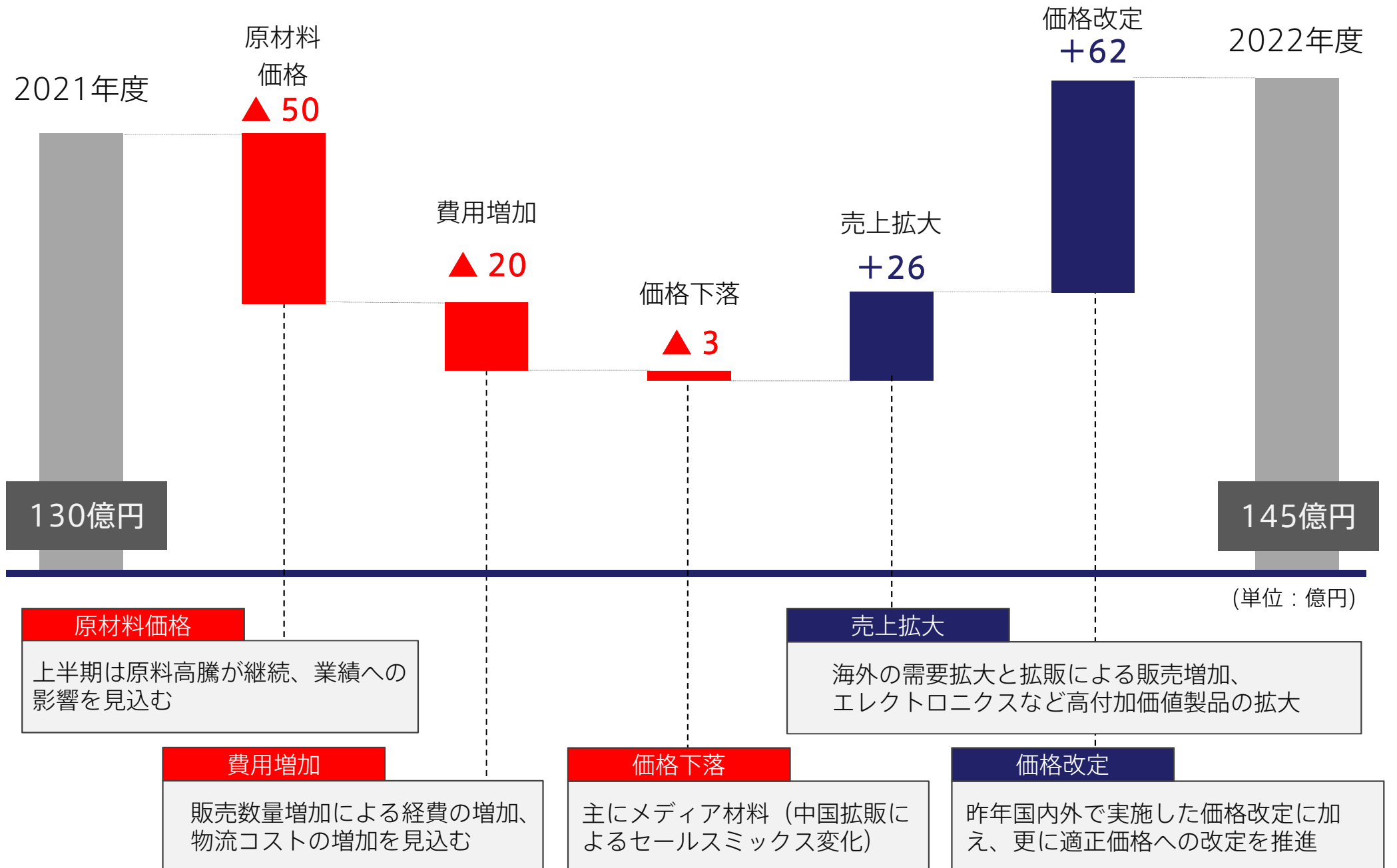
## ■ 22年度その他対策

- ・ 拡販、売上伸長
- ・ 高機能製品へのシフト
- ・ 不採算品改善
- ・ 固定費抑制、SCM改善

ポリマー・塗加工	+11億円
----------	-------

パッケージ	+10億円
-------	-------

# 2022年度 営業利益の増減要因予想



## 2022年度 各セグメントの施策

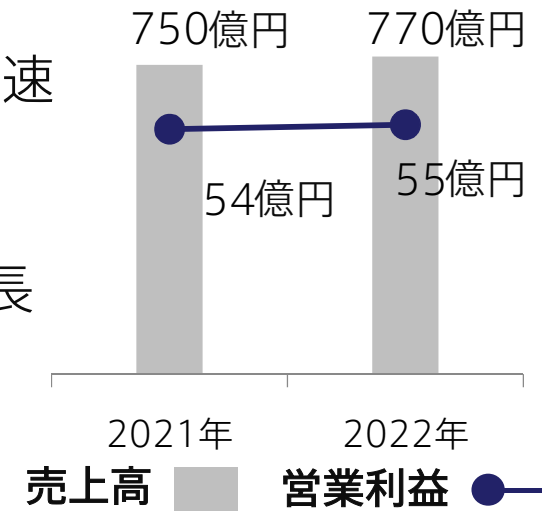
### 色材・機能材

### 成長市場において収益の柱の確立を加速

■EV リチウムイオン電池関連材料および周辺材料の世界展開加速

■デジタル FPD用レジストインキの中国シェア拡大、  
イメージセンサー用材料、インクジェットインキ伸長

■環境・リサイクル 社会ニーズの変化に対応する様々な機能を  
保持したプラスチック着色剤を拡充



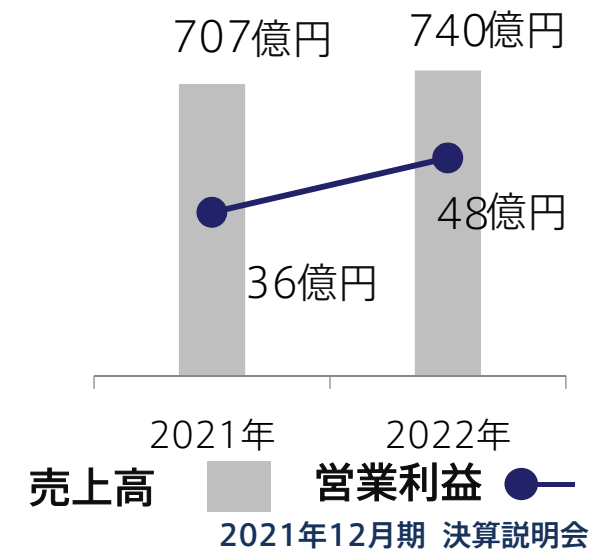
### ポリマー・塗加工

### グローバルNO.1 製品群の拡充と収益構造の変革

■エレクトロニクス  
5G製品群の拡充とグローバルNO.1製品群の育成

■パッケージ・工業材  
海外拠点の生産能力増強と、環境調和型製品群の展開  
適正価格への改定と低収益品の見直しによる収益構造変革

■メディカル・ヘルスケア 関連製品群の育成と海外強化



## 2022年度 各セグメントの施策

### パッケージ

### 環境対応をリード、海外各エリア市場の成長投資を加速

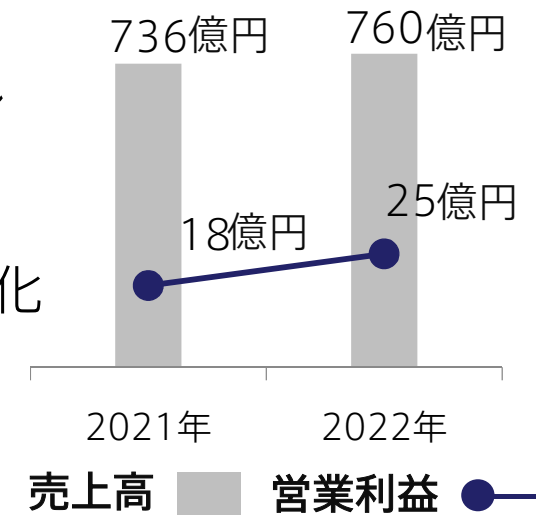
■ **環境対応製品の展開** 水性化、バイオマス、紙化、リサイクル

■ **海外成長市場シェア拡大**

中国、インド、トルコ、東南アジア等への集中投資、収益実績化

■ **原料高騰・供給不安の払拭**

適正価格への改定とグローバルSCM体制拡充



### 印刷・情報

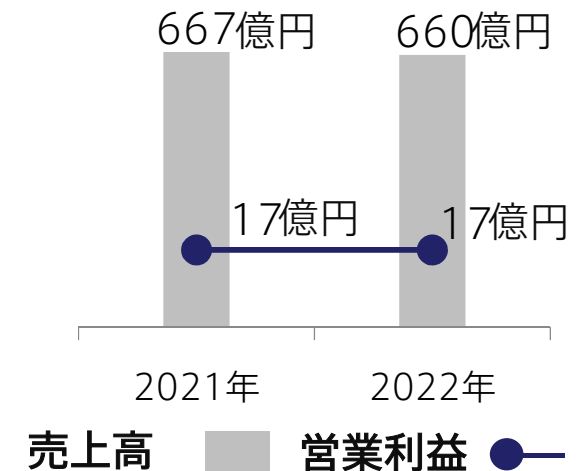
### 市場環境に適合した収益事業へ改革推進

■ **環境対応製品の伸長加速**

紙器、ラベル等の包装用途向け機能性インキ\*を世界展開

■ **抜本的構造改革**

生産、物流、販売体制の徹底的なスリム化、DX活用を推進

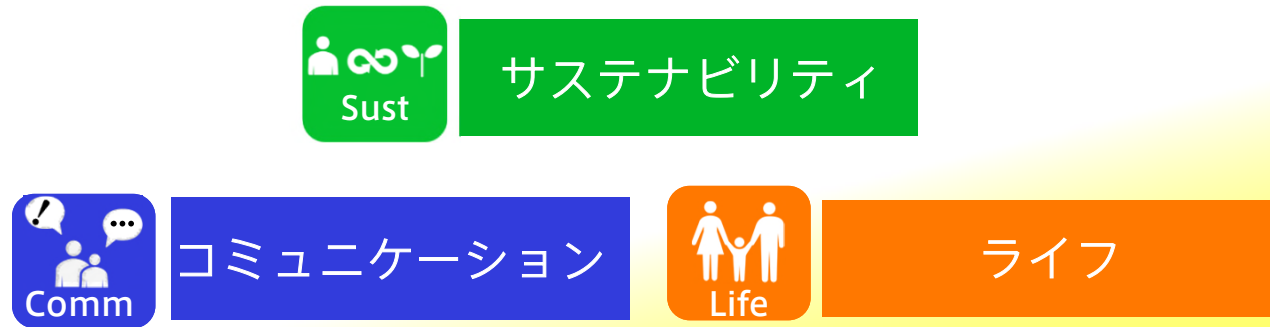


\*機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

# 新たな時代に貢献する生活文化創造企業

新たなニーズ

- グリーン
- デジタル
- 健康



2020年  
売上高  
2,577億円  
営業利益  
129億円

重点開発領域の  
創出拡大

戦略的な高収益事業群の形成

事業の  
収益力強化

低収益事業の再編・改革・撤退

持続的成長に向けた経営資源の  
価値向上 (企業体質の変革)

- ヒト
- DX
- 環境
- ガバナンス

2023年  
計数目標

売上高  
3,000億円

営業利益  
220億円

SIC-I

SIC-II



メディア材料 一液晶パネル市場の変化へ先手

■ 液晶パネル市場の変化：

- テレビ用大型パネル市場は成熟、中小型パネル市場は拡大
- 中国シフトは加速・競争激化

変化をチャンスへ

大型パネル市場  
(コモディティ)

ハイエンド市場  
(中小型など)

最大のマーケットである中国市場でのシェア拡大

コスト競争力の強化

顔料からレジストまでの  
一貫生産体制による革新製法

中国現地でのアライアンス

・技術提携や生産委託含む多様な検討  
・現地営業体制の強化

徹底した差別化・機能製品を展開

中小型パネル

薄膜高精細

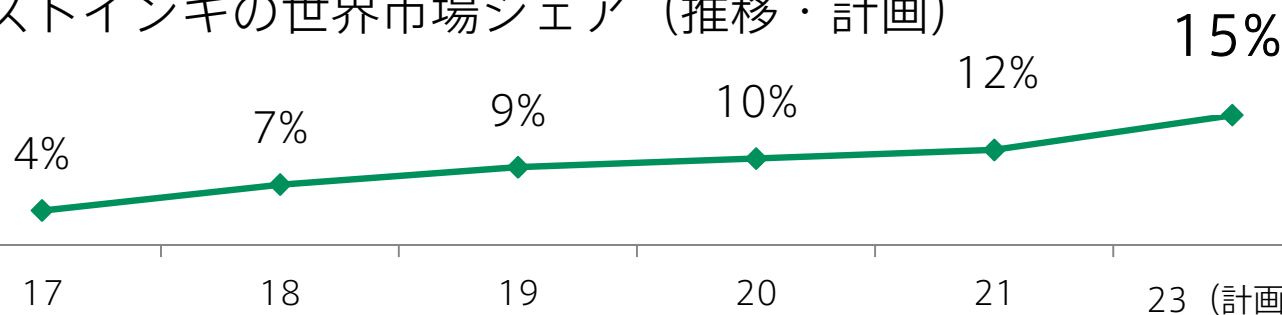
センサー

CMOS・波長制御

環境負荷低減

分散レス顔料

レジストインキの世界市場シェア (推移・計画)



2023年  
世界市場シェア  
15%へ

### 高付加価値シフト

環境調和や機能性を訴求した製品開発による収益構造変革

#### 環境調和型製品群



生分解



無溶剤



薄膜化

#### 高機能製品群

低皮膚刺激性  
ヘルスケア粘着剤



構造用接着剤



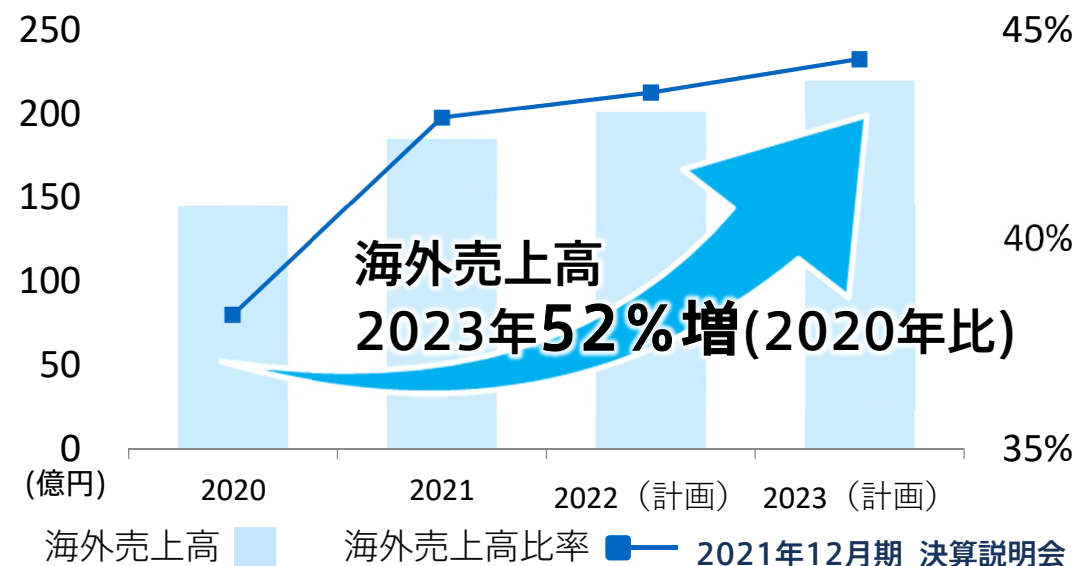
### グローバル拡張

生産能力増強により  
エレクトロニクス、工業材、ヘルスケア分野を拡大

海外拠点の設備増強（2022年稼働）



海外売上高/海外売上高比率（計画）



## 着色剤：事業構造を転換

### 不採算拠点を整理、並行して機能性製品群へ注力

- フィリピン、フランスなどの不採算拠点の整理
- 国内容器用を拡販
- 機能性製品へ注力
  - 太陽電池用（中国、インド急拡大）
  - 環境対応製品事例（鮮度保持フィルム、生分解（農業資材））



## UVインキの戦略的拡大

- 環境対応製品へシフト
  - 独自樹脂開発によりバイオマス化実現
  - LED-UV対応製品による省エネ寄与
- 日本、欧州のパッケージ市場拡販推進



紙器、シールラベル

グリーン・デジタル・健康をターゲットに開発・投資を推進



サステナブル・サイエンス

持続可能な社会実現へ

グリーン

環境調和  
パッケージ



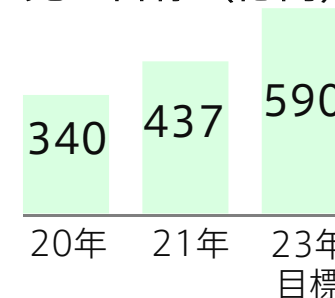
バイオマスインキ・水性ニス

EV  
新エネルギー



リチウムイオン電池用  
CNT分散体・接着剤

売上目標（億円）



コミュニケーション・サイエンス

キー素材で5G・IoT社会に貢献

デジタル

IoT・センサ



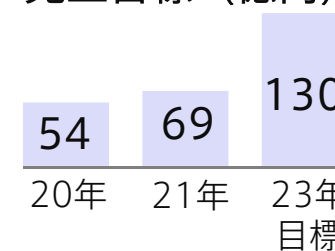
イメージセンサ・光学材料

5G・半導体



低誘電材料・機能性ハードコート

売上目標（億円）



ライフ・サイエンス

人々の生活を豊かに・健やかに

健康

メディカル



生体適合樹脂

デジタル印刷



インクジェットインキ

売上目標（億円）



2021年12月期 決算説明会



■ 日中韓の車載用高容量LiBメーカーの拡大に世界4極体制で対応

- 4極生産体制：EV4大市場（欧米中日）でCNT分散体の現地安定供給に目途
- 独自技術：技術革新により性能と安全性を両立させた高性能CNT分散体

フォルクスワーゲン・  
フォード用に供給開始

- 韓国SK ON向けは計画通りに進捗、米国・欧州で供給開始

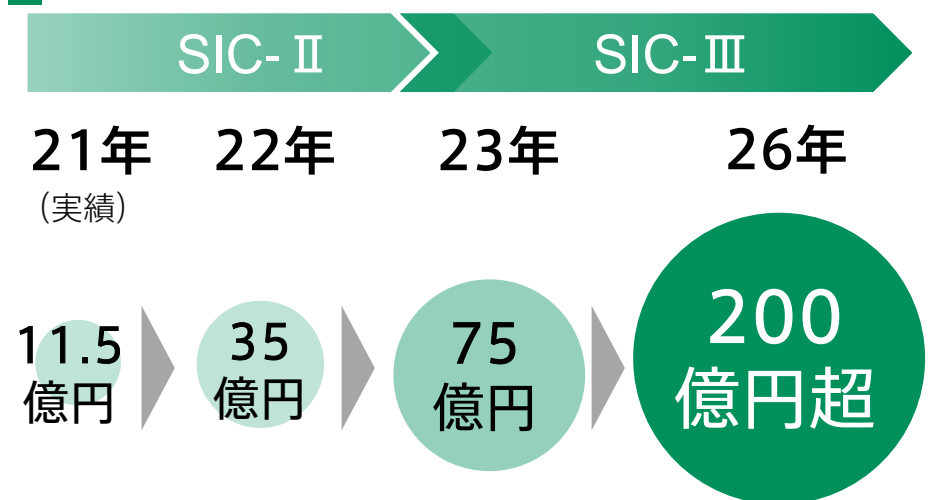
その他各社

- EV市場の急拡大に伴い車載用高容量LiBトップメーカー各社からの新規引き合い急増  
次世代バッテリーへの採用に向け開発進捗中

EV世界4大市場と当社の4極生産体制



売上目標（SIC27）



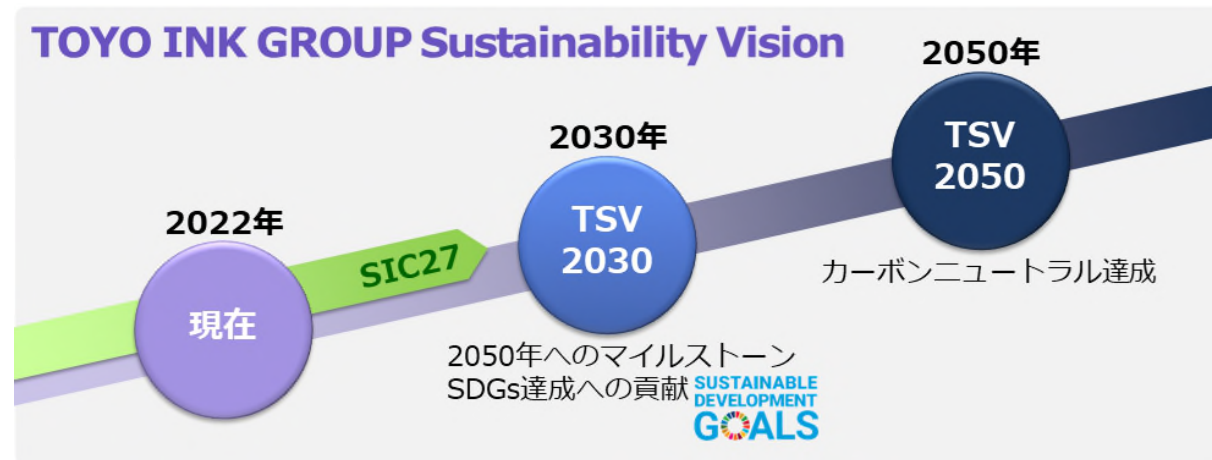
2026年までに**100億円** 投入 ※円の大きさは売上規模イメージ

# ESGトピックス

E

## ■ サステナビリティ経営を推進

- 2050年カーボンニュートラル達成、2030年SDGs達成への貢献を目的としたサステナビリティビジョン「TSV2050/2030」を策定
- TCFDへの賛同を表明



S

## ■ 挑戦する風土を醸成

ビジネスコンテストの開催

## ■ 障がい者雇用の拡大

ダイバーシティを推進

G

## ■ ガバナンス強化

監査等委員会設置会社へ移行

## ■ 政策保有株式の削減

## 研究開発体制の強化

### ■ 産学連携による技術基盤強化

- 東京工業大学に「東洋インキグループ 協働研究拠点」を設置  
 ～環境・IT・バイオの先端研究を推進～

#### 研究 内容

1. 環境分野 次世代電池、エネルギーハーベスト、CO2活用等の研究開発
2. IT分野 次世代イメージセンサ・半導体への応用を目指した革新的材料に関する研究開発
3. バイオ分野 次世代医療技術に繋がる生体物質と化学材料との相互作用に関する研究開発

## DX推進による基盤強化

#### 営業

- デジタル・マーケティング
- 新ビジネスモデル構築

#### 生産

- スマートファクトリー
- IoTでプロセス変革

#### 技術 開発

- マテリアルズ・インフォマティクス
- 開発スピード高速化

#### 管理

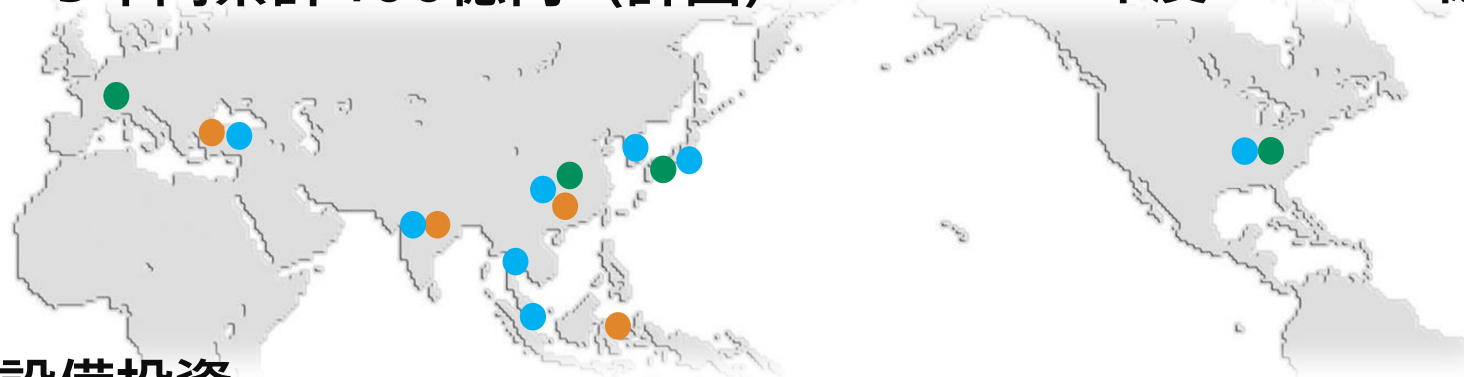
- RPA推進
- DX推進に向けた教育

設備投資 成長を推進する設備投資を実行

設備投資

SIC-II 3年間累計400億円 (計画)

- 2020年度 139億円 (実績)
- 2021年度 197億円 (実績)
- 2022年度 106億円 (予定)



主要な設備投資

色材・機能材

- 米国 (稼働)
- ハンガリー (稼働)
- 中国 (増強予定) (EV関連材料)

ポリマー・塗加工

- 米国・中国・インド・韓国 (粘着剤) (設備新設・増強・21~22年稼働予定)
- 守山 (メディカル) (建設中・23年稼働予定)

パッケージ

- 江門 (新工場 稼働)
- トルコ (新工場 建設中・22年稼働予定)
- インド (第2工場 稼働)



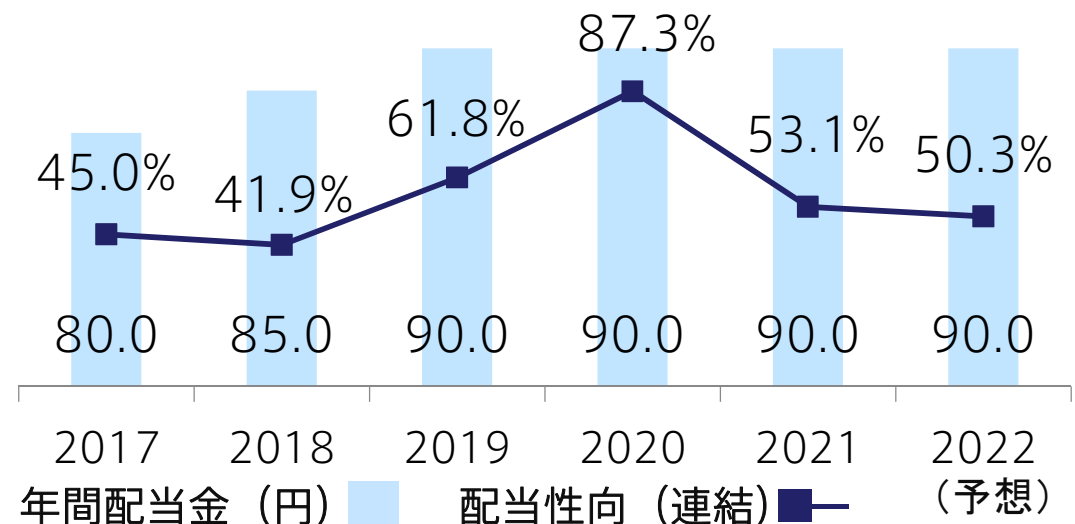
# 株主還元 安定した配当政策

## 株主還元に関する基本方針 (要約)

- 長期的な視点ですべてのステークホルダーの満足度を向上し続けることで、持続的な成長を実現していくことを目指す
- 長期にわたり安定的な経営基盤の確保に努めつつ、安定的な配当を継続
- 当中期経営計画期間（2021年～2023年）においては現状の配当金額（年90円）を下限とするが、業績によっては見直しを検討
- 安定配当を基本としながら、キャッシュ・フローや内部留保の状況等を総合的に勘案しつつ、自己株式の取得を機動的に行うなど株主還元を努める
- 内部留保については、基盤事業や成長が見込まれる事業分野への設備投資と、将来の利益向上に寄与できる研究開発に充てる

## 年間配当額※ 推移/予想

2021年度	2022年度 (予想)
90円	90円



※グラフにおける年間配当額は2018年7月1日 株式併合実施換算後の数値

■ IRに関するご質問・お問い合わせ先

[ir@toyoinkgroup.com](mailto:ir@toyoinkgroup.com)

■ ウェブサイト

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/index.html>

■ 主要ニュースリリース

- サステナビリティビジョン「TSV2050／2030」を発表

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2022/22021402.html>

- 東洋インキSCホールディングスと東京工業大学、  
「東洋インキグループ協働研究拠点」を設置

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2022/22011301.html>

- オンライン展示会「Value Showcase」を開催（2月14日（月）～25日（金））

[https://www.toyoinkgroup.com/showcase\\_202202/](https://www.toyoinkgroup.com/showcase_202202/)

## (ご参考) 連結貸借対照表等の概況

(単位：億円)

	2020年 12月末	2021年 12月末	増減率 (%)
流動資産	2,141	2,236	4.4
固定資産	1,661	1,833	10.3
資産計	3,802	4,069	7.0
流動負債	914	1,121	22.7
固定負債	715	678	▲5.1
負債合計	1,629	1,799	10.5
純資産計	2,173	2,269	4.4
負債純資産計	3,802	4,069	7.0

	2020年 12月末	2021年 12月末
有利子負債(億円)	814	810
自己資本比率(%)	55.2	53.7
D/Eレシオ	0.39	0.39

関係会社の数

	2020年 12月末	2021年 12月末
連結子会社	63	61
持分法適用会社	7	7

配当の状況

(単位：円/株)

	2020年度	2021年度
中間	45.0	45.0
期末	45.0	45.0(予想)

設備投資と減価償却費

(単位：億円)

	2021年度 実績	2022年度 計画
設備投資	197	106
減価償却	97	107

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベースの金額

(ご参考) 連結損益計算書の概況

(単位：億円)

	2020年 12月期	構成比 (%)	2021年 12月期	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	2,577	100.0	2,880	100.0	11.8
売上総利益	572	22.2	587	20.4	2.6
販売費計	443	17.2	457	15.9	3.2
営業利益	129	5.0	130	4.5	0.7
営業外収益計	20	0.8	38	1.3	87.3
営業外費用計	24	0.9	13	0.5	▲ 44.0
経常利益	125	4.9	154	5.4	23.1
特別利益計	1	0.0	7	0.2	655.3
特別損失計	26	1.0	30	1.0	14.0
税金等調整前当期利益	100	3.9	131	4.6	31.3
法人税等計	35	1.4	35	1.2	▲ 1.8
当期純利益	65	2.5	97	3.4	49.2
親会社株主に帰属する当期純利益	60	2.3	95	3.3	57.7

(ご参考) 事業別セグメント実績

		2021年12月期 第4四半期 (3ヶ月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2021年12月期 第3四半期比較(%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・ 機能材	日本	106	11	5.8	144.5	7.3	36.1	409	32	11.8	157.9
	海外	139	3	13.8	▲37.9	5.6	▲31.6	525	25	21.1	171.5
	合計	195	14	6.2	45.0	4.1	3.2	750	54	15.3	138.6
ポリマー・ 塗加工	日本	135	7	9.8	▲46.0	8.3	44.8	500	25	8.8	▲30.0
	海外	84	3	17.7	▲58.5	2.0	20.7	314	11	24.7	▲51.5
	合計	191	9	13.9	▲51.8	5.5	26.5	707	36	13.5	▲39.9
パッケージ	日本	113	1	14.6	▲72.8	9.8	▲4.2	417	9	8.1	▲47.5
	海外	91	2	17.1	▲68.5	12.6	287.3	331	9	14.2	▲58.2
	合計	201	3	15.4	▲71.0	10.7	64.7	736	18	10.6	▲53.3
印刷・ 情報	日本	97	2	▲2.7	173.0	13.3	-	363	0	▲1.6	-
	海外	91	5	12.7	14.3	6.7	73.7	340	17	21.8	61.3
	合計	178	7	2.7	34.1	10.1	431.0	667	17	7.2	189.4
その他		13	▲0	▲19.1	-	2.1	-	57	5	▲7.7	126.2
調整		▲7	▲0	-	-	-	-	▲38	▲0	-	-
連結		770	33	9.6	▲27.2	7.6	29.6	2,880	130	11.8	0.7

(注) 事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。







2021年12月期 決算説明会

## (ご参考) 地域別セグメント実績

当期実績	2021年12月期 第4四半期 (3ヶ月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2021年12月期 第3四半期比較(%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	465	22	7.7	▲7.7	9.9	58.3	1,735	73	7.2	13.1
アジア	302	9	14.1	▲47.4	5.5	▲7.0	1,136	48	20.2	▲18.6
ヨーロッパ	58	4	13.3	▲7.4	14.7	339.5	211	13	17.3	155.4
北米・中南米	45	▲0	25.9	-	4.3	-	162	1	27.7	-
調整	▲99	▲2	-	-	-	-	▲364	▲5	-	-
連結	770	33	9.6	▲27.2	7.6	29.6	2,880	130	11.8	0.7

(参考) 昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	410	18	392	11	384	11	432	23	1,618	64
アジア	217	11	217	16	246	15	265	17	945	59
ヨーロッパ	48	1	39	▲1	42	0	51	4	180	5
北米・中南米	35	▲0	24	▲1	33	0	35	1	127	▲1
調整	▲75	▲1	▲73	0	▲64	3	▲80	▲1	▲293	1
連結	634	30	599	25	641	29	703	45	2,577	129

(ご参考) 主な製品・用途 (色材・機能材/ポリマー・塗加工)

	主な事業	主な製品	主な用途	
色材・機能材	メディア材料	表示材 (レジストインキ)、ペースト、高機能顔料	ディスプレイ、センサー	
	プラスチック着色剤	マスターバッチ、コンパウンド	容器、自動車、家電OA、建材	
	顔料	顔料、顔料分散体	印刷インキ、自動車塗料、看板広告、ラベル、段ボール	
	インクジェット	インクジェットインキ		
	機能性分散体	リチウムイオン電池用材料、機能性分散体	EV用リチウムイオン電池	
ポリマー・塗加工	パッケージ・工業材料	粘着剤、ラミネート接着剤、ホットメルト、製缶塗料、樹脂	ラベル、フィルム包材、太陽電池、PETボトルラベル、飲料缶、建材	
	エレクトロニクス	機能性フィルム、粘着剤、両面テープ、ハードコート	スマートフォン、ディスプレイ、タブレット	
	メディカル・ヘルスケア	メディカル製品、粘着剤、天然材料	貼付型医薬品、スポーツテープ、食品、飼料	



(ご参考) 主な製品・用途 (パッケージ/印刷・情報)

	主な事業	主な製品	主な用途
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ	フィルム包材 (食品パッケージ、日用品詰め替え) 建材
		フレキシソインキ	サニタリー、段ボール、紙袋
印刷・情報	オフセットインキ (一般インキ)	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ
	機能性インキ	UVインキ	紙器、ラベル、書籍
		金属インキ	飲料缶、食缶
		スクリーンインキ	エレクトロニクス、ステッカー

